

だより

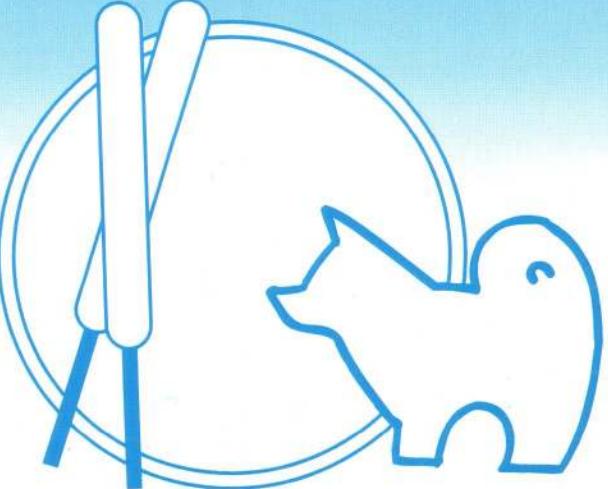
No. 2

ハナに会う旅

（国際交流初めの第一歩）

スウェーデン・ヨーテボリの秋
田犬「ハナ」のことを知っていますか。約一年前のこのコーナーで桑名秀明リポーターが紹介した、あの「ハナ」です。今回「ハナに会う旅」を企画実行した、社団法人大館青年会議所理事長の山田和人さんと直前理事長の金澤朗さんからお話を伺いました。

「ハナに会う旅」の発端は、ベネグレン夫妻がハナを飼えるまでの尽力に感謝し、ぜひヨーテボリに来てくださいとの金澤さんへの



リポーター 石井百合子さん
(十二所・中町)



ベネグレン氏と大きくなってしまったハナ

別荘には在ヨーテボリの日本人も招待されており、大いに交流を深めあつたそうです。宴もたけなわとなり、エールの交換ならぬ歌の交換となり、大館からはハナにちなんで「花」を唄つたところ、ヨーテボリのかたたちは、スウェーデンの卒業式で唄われる、いわゆるスウェーデンの「花」でお返ししてくれたんだそうです。

旅のことに携わってきたので行ってみたいなどの思いを持つてこの旅行に臨んだようです。

一行はドイツ・デュッセルドルフを経てヨーテボリに到着しました。いよいよベネグレン夫妻、そ

の上に非常に大きな日章旗が掲げてあつたことで、普段なら日章旗には少し抵抗感がある世代でも、自分が日本の代表であるかのような感慨があつたそうです。

この歌の間、ヨーテボリを訪れるまでの様々な場面が浮かんで、山田さん、金澤さんとも胸に込み上げるものがあつたとのことです。

この取材の最後に、金澤さんが次のように語ってくれました。

「感謝や感動の気持ちは言葉だけではなく行動に移すことだ。『ありがとう』は行動にして本当に『ありがとうございます』になる」と。

最初は個人と個人のつながりであつたものが、次の人たちとのつながりになり、さらには大館市民とヨーテボリ市民の交流へと広がっていく。ハナはこの最初の一歩のきっかけとなつたのではないでしょうか。今後も大館市民とヨーテボリ市民の交流が続き、「ハナに会う旅」の第二幕があがることを願い、最初の一歩を歩みだされた皆さんにエールを送ります。



山田理事長(中央)と金澤直前理事長(右)からお話を伺う石井リポーター